

ノッカと パパリン



作・絵 キタオンジ

ノツカちゃんが
ユキのまちに
すんでいたころの
おはなしです。



ノックちゃんのパパは
おえかきさんで

いつも おうちで
おえかきをしていました



ババノンは おはなしがじょうずで
ノックちゃんは わからないことがあると
いつも ババノンにききました。

「ババノンのけは んていって
クルクルはのー」



「それはね

うちゅうのほうぞくだからさ」

「そうなんだ」

おもしろいので
ノックちゃんは
まいにちききました。



「おはようございます」

「おはよう」

「おはよう」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」



「何だ
プレゼント...」



「何だプレゼント
なんぞ...」



「おはよう おはようおはよう
おはよう おはようおはよう」

「おはよう おはようおはよう」

「おはよう おはようおはよう」

あるひのこと――。

おふおふ♡

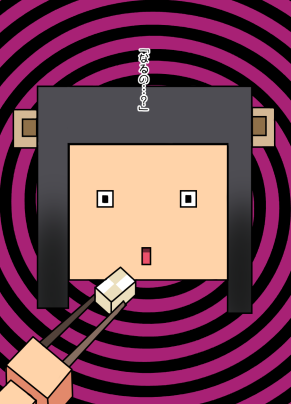
ノミカチキが
のこ飯ふくらむ……



「そんなに おふばかり
たべていると
あさ おきたら
おふになっちゃうぞ」









たまに

ウソもつくけれど――

ウツキです!!

ゲ/ヤ

ゲ/ヤ

やまんこ

ノッパちゃんとは
ババノコが だいすきです。



「ノッカとパパノン」

2021年3月3日 初版発行（ウェブサイト限定PDF版）

文・絵／キタオンジ ©2021 KITAONJI All Rights Reserved.

この物語はフィクションです。実在する団体や個人とは一切関係ありません。
無断配布・転載を禁じます。

本書の書籍化に関するお問い合わせ、配布・転載をご希望の方は
以下までお問い合わせ下さい。

Twitter：@kitaonjin

